

時	Part ページ	ねらい(●), 言語活動(丸数字)	留意点
1	とびら 5 Part 1 6-7	●扉の絵から必要な情報を読み取り, 事実や考えたことなどを伝え合う。 ①本文を読む前に質問に答えながら既知の事実や知識を整理し, 課の目標を確認する。 ●未来表現(will)の肯定文や疑問文の構造を理解し, 本文の概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 1 の未来表現(will)の肯定文や疑問文の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①教科書の質問以外についても尋ね合う。 ①Notes のオーストラリアの中高一貫教育について参照する。
2	Part 1 6-7	●未来表現(will)の肯定文や疑問文を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で未来表現を復習し, 本文の概要を確認する。 ②Speak: ペアで来週の天気について尋ね合う。 ③Write: Speak で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 様々な状況でやり取りをする。	
3	Part 2 8-9	●未来表現(be going to ~)の文の構造を理解し, 本文の概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 2 の未来表現(be going to ~)の肯定文や疑問文の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①Notes のゲーム実況について参照する。
4	Part 2 8-9	●未来表現(be going to ~)の肯定文や疑問文を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で未来表現を復習し, 本文の概要を確認する。 ②Speak: 来週の予定について尋ね合う。 ③Write: Speak で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: ペアで週末の予定を尋ね合う。	②Tool Box の表現を参照する。 ④p.141 の Word Box 1 の余暇の過ごし方を参照する。
5	Part 3 10-11	●S+V+O(that 節)の肯定文や否定文の意味や働きを理解する。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 3 の S+V+O(that 節)の肯定文や否定文の構造を理解し, 本文の概要を捉える。 ③新出語句を確認し, 本文の概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①Notes のマオリについて参照する。
6	Part 3 10-11	●S+V+O(that 節)の肯定文や否定文を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で S+V+O(that 節)を復習し, 本文の概要を確認する。 ②Speak: ペアで各教科の印象について尋ね合う。 ③Write: Speak の調査の結果を正確に書く。 ④Express Yourself: 好きなテーマを選び, 好きな作品の紹介文を書く。	②Notes の英語圏の数え方について参照する。
7	R&T 12-13	●タレントショーについて書かれた新聞記事の文章を読んで, 概要を捉える。 ①Scene から概要を推測し, 本文を読んで確認する。 ②新出語句を確認し, 各段落にタイトルをつけて要点を捉える。 ③概要を捉えるために, 本文の内容を表にまとめたり, マッピングを作成したりする。	
8	R&T 12-13	●タレントショーについて書かれた新聞記事の文章の概要を確認し, 自分の考えを書く。 ①Step 1 の活動を行い, 要点と概要を捉える。 ②Step 2 の活動を行い, 新聞記事の感想について内容を聞き取る。 ③Step 3 の活動を行い, 次回のタレントショーについて自分の考えを書く。	②Notes のオーストラリアの学年の分け方について参照する。
9	T&S 14	●学校で行うイベントの企画について提案したいことを整理し, 簡単な語句や文を用いて発表する。 ①Step 1 の活動を行い, 提案されているイベントの内容を聞き取る。 ②Step 2 の活動を行い, 自分が提案したいイベントの内容をメモする。 ③Step 3 の活動を行い, 提案したい企画を発表する。	②Tool Box の表現を参考にする。
後日		パフォーマンステスト ・本文あるいは R&T のニュース記事の文章の内容を要約して発表する。 ・イベントの企画を考えて発表する。 ペーパーテスト ・未来表現(will, be going to ~), S+V+O(that 節)を用いた文の構造の理解を基に, 初見の文章を読み要点や概要を捉える。 ・未来表現(will, be going to ~), S+V+O(that 節)を用いた文の構造の理解を基に, 予定や自分の好きなものについて説明する文章を書く。	・パフォーマンステストは, いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき, そのうちの 1 つを学期に一度実施する。

Book 2 Let's Talk ① 親しい人への依頼 p. 15 指導計画

(KE: Key Expressions)

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	15	<p>●週末にパーティーを開く予定で、友達に手伝ってほしいことがあるとき、簡単な語句や文を用いて即興でお願いしたり、お願いに適切に答えたりする。</p> <p>①本文を見ないでモデル会話を聞き、聞き取った要点と場面の概要を確認する。</p> <p>②本文を読んで、聞き取った内容を確認する。</p> <p>③新出語句と KE の重要表現の意味や働きを確認した後、モデル会話を聞きながら本文を読む。</p> <p>④Step 1: 発音やイントネーションなどに気をつけながらモデル会話を練習し、ペアになって会話をする。</p> <p>⑤Step 2: ペアになり、モデル会話を参考にして①～③の設定で会話をする。</p> <p>⑥Step 3: ペアになり、Tool Box の表現を参考にしながら、開催するイベントや依頼する内容を自由に決めて、スキットを作って演じる。</p>	<p>①複数回聞き、友達と聞き取った語句や文を共有してクラスで確認する。</p> <p>⑤⑥ペアを替えて複数回練習する。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト 与えられた初見の条件で、依頼したいことを伝える場面において、教師あるいは友達と即興で会話をする。</p> <p>ペーパーテスト 与えられた初見の条件で、KE の重要表現を用いて、スキットの原稿を書く。</p>	<p>・学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマを予め示しておき、そのうち任意の 1 つを学期末に実施する。</p>

Book 2 Let's Listen ① 週末の天気予報 p. 16 指導計画

(BL: Before Listening)

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	16	<p>● 天気予報で用いられる語句の意味や働きを理解し、天気予報から必要な情報を聞き取る。</p> <p>①BL: 世界各地の天気について表の内容を基に、教師と生徒のやり取り、生徒同士のやり取りで情報を伝え合う。</p> <p>②Step 1: 週末の天気予報を聞いて、要点を捉える。 聞き取った情報をペアやグループで確認する。その後要点を捉えたうえで、もう一度聞き取り、詳細情報を捉える。</p> <p>③Step 2: 週末の天気についての会話を聞いて、要点を捉える。 聞き取った情報をペアやグループで確認する。その後要点を捉えたうえで、もう一度聞き取り、詳細情報を捉える。</p> <p>④Step 3: Step 1 と 2 で聞き取った情報を基に、週末に何をするかをペアで伝え合う。 ペアを替えて、何度か予定を伝え合う。</p>	<p>②③p.133 スクリプトを参考にする。</p> <p>④p.141 の Word Box 1 余暇の過ごし方を参考にする。</p>
後日		<p>リスニングテスト ペーパーテスト</p>	

Book 2 Focus on Form ① 未来表現 p. 17 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	17	<p>●友達と遊ぶことになっている今週の日曜日の予定に, 別の友達も誘う。</p> <p>①表にある意志を表す未来表現および予測を表す未来表現の肯定文, 否定文, 疑問文, 応答文を, 例文を用いて確認する。Unit 1 に戻って未来表現を用いた表現を探して文の構造と意味を確認する。</p> <p>②Your Turn の例をペアで読み, 表にある表現が会話中でどのように機能しているか確認する。</p> <p>③Your Turn の例を参考に, ペアになり会話をして, 相手を誘う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈の中で機能を確認するようにする。</li> <li>・ペアは何回か替えて複数回会話ができる機会を持つ。回数を重ねるうちに何も見ずに, スムーズに会話ができるようにする。</li> </ul>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>パフォーマンステスト</p> <p>相手の予定を聞き, 誘う。</p>	

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 19 Part 1 20-21	●扉の地図や写真から必要な情報を読み取り, 事実や考えたことなどを伝え合う。 ①本文を読む前に質問に答えながら既知の事実や知識を整理し, 課の目標を確認する。 ●to 不定詞(副詞的用法)の文の構造を理解し, 本文の概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 4 の to 不定詞(副詞的用法)の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①教科書の質問以外についても尋ね合う。 ①Notes の青森ねぶた祭について参照する。
2	Part 1 20-21	●to 不定詞(副詞的用法)を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で to 不定詞を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで行った場所とその目的について尋ね合う。 ③Write: Speak で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 行きたい場所としたいことを考えてやり取りをする。	
3	Part 2 22-23	●to 不定詞(形容詞的用法)の文の構造を理解し, 本文の概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 5 の to 不定詞(形容詞的用法)の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①Notes の平溪天燈節について参照する。
4	Part 2 22-23	●to 不定詞(形容詞的用法)を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で to 不定詞を復習し, 本文の概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 吹き出しに入るセリフを考えて言う。 ③Write: Speak (2)で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: おすすめのものや場所, 食べ物や祭りを紹介する文章を書く。	②Tool Box の表現を参照する。 ④Tool Box の表現を参照する。
5	Part 3 24-25	●It is ~ (for+人)+to 不定詞の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 6 の It is ~ (for+人)+to 不定詞の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①Notes のインティ・ライミについて参照する。
6	Part 3 24-25	●It is ~ (for+人)+to 不定詞を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で It is ~ (for+人)+to 不定詞を復習し, 本文の概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 様々な状況について伝え合う。 ③Write: Speak (2)で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 学校生活において, 大切/楽しい/必要だと思うことを書く。	④Tool Box の表現を参照する。
7	L&T 26-27	●花火大会についてのプレゼンテーションを聞いて, 要点や概要を捉える。 ①Scene から要点を推測し, プレゼンテーションを聞いて確認する。 ②新出語句を確認し, 各スライドにタイトルをつけて要点を捉える。 ③概要を捉えるために, 内容を表にまとめたり, マッピングを作成したりする。	
8	L&T 26-27	●花火大会についてのプレゼンテーションの概要を確認し, 聞いたことを説明する。 ①Step 1 の活動を行い, 要点と概要を捉える。 ②Step 2 の活動を行い, 詳細情報を整理して捉える。 ③Step 3 の活動を行い, 聞いて理解したことを整理して説明する。	①②p.132 のスクリプトを参考にする。
9	T&S 28	●紹介したい祭りについて内容を整理し, 簡単な語句や文を用いて発表する。 ①Step 1 の活動を行い, 紹介されている祭りの内容を聞き取る。 ②Step 2 の活動を行い, 自分が紹介したい祭りの内容をメモする。 ③Step 3 の活動を行い, 紹介したい祭りについて発表する。	
後日		パフォーマンステスト ・本文あるいはL&Tのプレゼンテーションの内容を要約して発表する。 ・紹介したい祭りについて発表する。 ペーパーテスト ・to 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法), It is ~ (for+人)+to 不定詞を用いた文の構造の理解を基に, 初見の文章を読み要点や概要を捉える。 ・to 不定詞(副詞的用法・形容詞的用法), It is ~ (for+人)+to 不定詞を用いた文の構造の理解を基に, 紹介したいものについて説明する文章を書く。	・パフォーマンステストは, いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき, そのうちの1つを学期に一度実施する。

Book 2 Let's Talk ② 気持ちを伝える p. 29 指導計画

(KE: Key Expressions)

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	29	<p>● ある出来事を見たり聞いたりしたとき、簡単な語句や文を用いて自分の気持ちを相手に適切に伝える。</p> <p>①本文を見ないでモデル会話を聞き、聞き取った要点と場面の概要を確認する。</p> <p>②本文を読んで、聞き取った内容を確認する。</p> <p>③新出語句と KE の重要表現の意味や働きを確認した後、モデル会話を聞きながら本文を読む。</p> <p>④Step:1 発音やイントネーションなどに気をつけながらモデル会話を練習し、ペアになって会話をする。</p> <p>⑤Step 2: ペアになり、モデル会話を参考にして①～③の設定で会話をする。</p> <p>⑥Step 3: ペアになり、Tool Box の表現を参考にしながら、出来事やそれについての気持ちを自由に決めて、スキットを作って演じる。</p>	<p>①複数回聞き、友達と聞き取った語句や文を共有してクラスで確認する。</p> <p>⑤⑥ペアを替えて複数回練習する。</p> <p>⑥p.141 の Word Box 2 (感想・気持ちを表す形容詞) を参考にする。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト 与えられた初見の条件で、見たり聞いたりした出来事を伝える場面において、気持ちを考えながら教師あるいは友達と即興で会話をする。</p> <p>ペーパーテスト 与えられた初見の条件で、KE の重要表現を用いて、スキットの原稿を書く。</p>	<p>・学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマを予め示しておき、そのうち任意の 1 つを学期末に実施する。</p>

Book 2 Focus on Form ② to+動詞の原形 pp. 30-31 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	30-31	<p>●趣味について尋ねたり、趣味が何かを面白さや大変さなどの感想とともに伝えたりする。</p> <p>●自分が週末にしたことを、した理由や感想などとともに書く。</p> <p>①例にある「～すること」という意味、「～するために」という目的、「…して楽しい／悲しい」のような原因・理由、「…するための」という意味を表す to+動詞の原形を、例文を用いて確認する。Unit 2 に戻って to+動詞の原形を使った表現を探して文の構造と意味を確認する。</p> <p>②Your Turn (1)と(2)の例をペアで読み、表にある表現が会話中でどのように機能しているか確認する。</p> <p>③Your Turn (1)の例を参考に、ペアになり会話をして、互いの趣味について伝え合う。</p> <p>④Your Turn (2)の例を参考に、先週末にしたことについて書く。</p>	<p>・文脈の中で機能を確認するようにする。</p> <p>・ペアは何回か替えて複数回会話ができる機会を持つ。回数を重ねるうちに何も見ずに、スムーズに会話ができるようにする。</p>
後日		<p>ペーパーテスト パフォーマンステスト 相手と趣味について伝え合う。</p>	

Book 2 Let's Write ① おすすめの旅行先を紹介しよう p. 32 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	32	<p>● おすすめの旅行先を紹介するメールを書く。</p> <p>①Scene 状況を確認し、内容について生徒とやり取りしながら確認する。</p> <p>②Step 1: メールを読み、おすすめの場所とそこでできることについての概要を確認する。</p> <p>③新出語句と重要表現の意味や働きを確認した後、本文を読み詳細情報を確認する。</p> <p>④Step 2: 自分がすすめる場所とそこでできることについてアイデアを挙げる。</p> <p>⑤Step 3: メール本文を参考にして、メールへの返信を書く。ペアでメールの返信を読み合い、良い点や改善点を伝え合って、メールを修正する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QR で状況を確認する。</li> <li>・メールの書き方について確認する。</li> </ul>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初見の情報が与えられた状況でおすすめのものや場所を紹介し、紹介するものの具体的なおすすめする点を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期中に学習したいくつかのテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の一つについて紹介する作文課題を学期末に行ってもよい。</li> </ul>

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 33 Part 1 34-35	●扉の絵や写真から必要な情報を読み取り、事実や考えたことなどを伝え合う。 ①本文を読む前に質問に答えながら既知の事実や知識を整理し、課の目標を確認する。 ●助動詞 must の文の構造を理解し、本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし、既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 7 の助動詞 must や must not の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し、本文の要点や概要を捉え、適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①教科書の質問以外についても尋ね合う。 ①Notes のシンガポールのルールについて参照する。
2	Part 1 34-35	●助動詞 must や must not を用いて、表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し、本文で助動詞 must を復習し、本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで、海外のルールについて伝え合う。 ③Write: Speak (2)で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 他者に自分の家のルールについて説明する。	④Tool Box の表現を参照する。
3	Part 2 36-37	●助動詞 have to や don't have to の文の構造を理解し、本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし、既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 8 の have to や don't have to 意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し、本文の要点や概要を捉え、適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	
4	Part 2 36-37	●助動詞 have to や don't have to を用いて、表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し、本文で助動詞 have to を復習し、本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペア、しなければならないことについて伝え合う。 ③Write: Speak (2)で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 自分がしなければならないこと、する必要がないことを書く。	
5	Part 3 38-39	●助動詞 should の文の構造を理解し、本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし、既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 9 の should の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し、本文の要点や概要を捉え、適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①Notes のシンガポール名物チリクラブについて参照する。
6	Part 3 38-39	●助動詞 should を用いて、表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し、本文で助動詞 should を復習し、本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで、絵の中で吹き出しに入る相手へのアドバイスを伝え合う。 ③Write: Speak ③でアドバイスしたことを正確に書く。 ④Express Yourself: 他者へのアドバイスを発表する。	
7	R&T 40-41	●シンガポールについて書かれたガイドブックの文章を読んで、要点を捉える。 ①Scene から要点を推測し、本文を読んで確認する。 ②新出語句を確認し、各段落にタイトルをつけて要点を捉える。 ③概要を捉えるために、本文の内容を表にまとめたり、マッピングを作成したりする。	
8	R&T 40-41	●シンガポールについて書かれたガイドブックの文章の要点を確認し、要約文を完成する。 ①Step 1 の活動を行い、要点を捉える。 ②Step 2 の活動を行い、詳細情報を捉える。 ③Step 3 の活動を行い、読んだ文章の要約文を完成する。	
9	T&W 42	●自分の学校のルールについて紹介したいことを整理し、簡単な語句や文を用いて書く。 ①Step 1 の活動を行い、紹介されている学校のルールの内容を読み取る。 ②Step 2 の活動を行い、自分が紹介したい学校のルールの内容をメモする。 ③Step 3 の活動を行い、紹介したい学校のルールについて紹介文を書く。	
後日		パフォーマンステスト ・本文あるいは R&T のガイドブックの内容を要約して発表する。 ・学校や国・地域のルールやマナーについて説明する。 ペーパーテスト ・助動詞 must, have to, should を用いた文の構造の理解を基に、初見の文章を読み要点や概要を捉える。 ・助動詞 must, have to, should を用いた文の構造の理解を基に、しなければならないことなどについて説明する文章を書く。	・パフォーマンステストは、いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき、そのうちの1つを学期に一度実施する。

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	43	<p>●「空港のアナウンス」で用いられている語句の意味や働きを理解し、アナウンスから必要な情報を聞き取り、他の人に伝える。</p> <p>①BL 搭乗券の内容を基に、教師と生徒のやり取り、生徒同士のやり取りで必要な情報を伝え合う。</p> <p>②Step 1: 搭乗予定の便の変更を知らせるアナウンスを聞いて、必要な情報を捉える。聞き取った情報をペアやグループで確認する。その後必要な情報を捉えたうえで、もう一度聞き取り、詳細情報を捉える。</p> <p>③Step 2: 離陸後の機長のアナウンスを聞いて、必要な情報を捉える。聞き取った情報をペアやグループで確認する。その後必要な情報を捉えたうえで、もう一度聞き取り、詳細情報を捉える。</p> <p>④Step 3: 空港や機内のアナウンスで聞き取った情報を基に、ペアの相手とアナウンスの内容を伝え合う。ペアを替えて、何度かアナウンスの内容を伝え合う。</p>	②③p.133 スクリプトを参考にする。
後日		リスニングテスト ペーパーテスト	



Book 2 Project ① Sharing Japanese Culture with the World pp. 44-45 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	44-45	<p>●日本文化を紹介するパンフレットの紹介文を読んで、要点を捉える。</p> <p>①日本文化を紹介するパンフレットの紹介文を読んで、どんなことについて書かれているか確認する。</p> <p>②新出語句や重要表現の意味を確認する。</p> <p>③再度記事を読み、紹介する物事、定義、詳しい説明の要点ごとに分かったことをメモする。その後、クラス全体で内容について確認する。</p> <p>④p.142のWord Boxの日本文化についてクラスで共有し、次回までに紹介したい行事を1つ選んでおく。</p>	<p>・日本文化についての紹介文で、何を紹介したいかペアで共有する。</p>
2	44-45	<p>●紹介したい日本文化を選び、情報を整理し、簡単な語句や文を用いて紹介文を書く。</p> <p>①p.142 Word Boxの日本文化の英語名と発音を確認する。</p> <p>②紹介したい日本文化を1つ選び、紹介する物事、定義、詳しい説明など要点ごとに説明を書く。</p> <p>③書いた説明を整理し、パンフレットの紹介文にまとめる。</p>	<p>・タイトルのつけ方や文字の大きさ、説明文の文字の大きさなどについても工夫する。</p>
3	44-45	<p>●自分が選んだ日本文化について、情報を整理し、簡単な語句や文を用いて紹介文を書く。グループになり、発表する。</p> <p>①紹介文を完成させ、ペアで交換して読み合い、感想を言ったりアドバイスをしたりする。</p> <p>②アドバイスを基に必要なに応じて紹介文を修正する。</p> <p>③複数回ペアを替えて読み合い、感想を言ったりアドバイスをしたりする。</p> <p>④クラスで記事を発表する。</p>	<p>・友達と交換して読み合うときは、紹介するものの名称を隠して当て合う活動をしてよい。</p> <p>・この活動によって紹介文の完成度を高めたい。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・作成したパンフレットをもとに教師にプレゼンテーションを行う。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・初見で与えられた日本文化について、定義、詳しい説明などを書く。</p>	

Book 2 Let's Read ① The Restaurant of Many Orders pp. 46-48 指導計画 (BR: Before Reading)

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	46-48	<p>●物語を読んで、そのあらすじなどを捉える。</p> <p>①BR 物語の背景を理解し、生徒同士のやり取りを通して物語を主体的にとらえ、内容を予想する。</p> <p>②新出語句、小学校既習語を参考にしながら本文を読む。</p> <p>③看板で指示されることを確認しながら物語のあらすじを捉える。</p>	<p>・QR、指導書付属PCを使って物語の概要を捉える助けとする。</p>
2	46-48	<p>●物語を読んで、登場人物の行動や心情の変化などを捉える。</p> <p>①物語を読んで、話の概要と詳細情報を理解する。</p> <p>②新出語句、小学校既習語を参考にしながら本文を読む。</p> <p>③登場人物の行動や心情の変化を、立場を変えて読みながら考察し、伝え合う。</p> <p>④After Reading 物語のあらすじを確認し、登場人物の心情の変化を理解する。</p>	<p>・レストランの間取りを考えながら、メモを取りつつ読み進めると整理しやすい。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・話の展開を考えながら、物語のあらすじを効果的に発表する。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・物語の概要や詳細情報を基に、話の中で描写されていない状況描写やセリフを考えて書く。</p>	

Book 2 Unit 4 Preparing for Natural Disasters pp. 49-58 指導計画 (L&T: Listen & Think, T&S: Think & Speak)

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 49 Part 1 50-51	●扉の絵や写真から必要な情報を読み取り, 事実や考えたことなどを伝え合う。 ①本文を読む前に質問に答えながら既知の事実や知識を整理し, 課の目標を確認する。 ●There is/are ~.の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 10 の There is/are ~.の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①教科書の質問以外についても尋ね合う。 ①Notes のハザードマップについて参照する。
2	Part 1 50-51	●There is / are ~.を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で There is/are ~.を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 部屋のどこに何を置くかについて伝え合う。 ③Write: Speak で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 自分が住んでいる地域の紹介したい場所について発表する。	
3	Part 2 52-53	●S+V+O(疑問詞+to 不定詞)の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 11 の S+V+O(疑問詞+to 不定詞)の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①Notes の避難場所と避難所の違いについて参照する。
4	Part 2 52-53	●S+V+O(疑問詞+to 不定詞)を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で疑問詞+to 不定詞を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 様々なことについて知っている人を探すために尋ね合う。 ③Write: Speak ③で尋ねたことを正確に書く。 ④Express Yourself: ペアの相手と知りたい情報について尋ね合う。	④Tool Box の表現を参照する。
5	Part 3 54-55	●tell/show+人+疑問詞+to 不定詞の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ①Target 12 の tell/show+人+疑問詞+to 不定詞の意味や働きを理解する。 ②新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ③Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	
6	Part 3 54-55	●tell/show+人+疑問詞+to 不定詞を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で tell/show+人+疑問詞+to 不定詞を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 様々なことについて教えてくれる人を探して尋ねる。 ③Write: Speak ③で尋ねたことを正確に書く。 ④Express Yourself: 他者に何を教えられるかを伝える文章を書く。	
7	L&T 56-57	●防災対策について伝えているラジオ番組を聞いて, 要点や概要を捉える。 ①Scene から要点を推測し, 会話を聞いて確認する。 ②新出語句を確認し, ラジオ番組を聞いて要点を捉える。 ③概要を捉えるために, 会話文の内容を表にまとめたり, マッピングを作成したりする。	
8	L&T 56-57	●防災対策について伝えているラジオ番組の概要を確認し, 内容を整理して伝える。 ①Step 1 の活動を行い, 要点と概要を捉える。 ②Step 2 の活動を行い, 詳細情報を捉える。 ③Step 3 の活動を行い, 聞き取った内容を整理して発表する。	①②p.132 のスクリプトを参考にする。
9	T&S 58	●災害発生時の行動や注意事項について簡単な語句や文を用いて発表する。 ①Step 1 の活動を行い, 火災が発生したときの行動について内容を聞き取る。 ②Step 2 の活動を行い, 災害発生時の行動や注意事項をメモする。 ③Step 3 の活動を行い, 災害発生時の行動や注意事項について発表する。	②Tool Box の表現を参照する。
後日		パフォーマンステスト ・本文あるいはL&Tのラジオ放送の内容を要約して発表する。 ・災害発生時の行動や注意事項について説明する。 ペーパーテスト ・There is/are ~., S+V+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O+O(疑問詞+to 不定詞)不定詞を用いた文の構造の理解を基に, 初見の文章を読み要点や概要を捉える。 ・There is/are ~., S+V+O(疑問詞+to 不定詞), S+V+O+O(疑問詞+to 不定詞)を用いた文の構造の理解を基に, 他者に何をどのようにどこで~したらよいかを伝える文章を書く。	・パフォーマンステストは, いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき, そのうちの1つを学期に一度実施する。

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	60-61	<p>● 通りがかりの人から駅への行き方を尋ねられた際, 簡単な語句や文を用いて適切に説明する。</p> <p>①本文を見ないでモデル会話を聞き, 聞き取った要点と場面の概要を確認する。</p> <p>②本文を読んで, 聞き取った内容を確認する。</p> <p>③新出語句と KE の重要表現の意味や働きを確認した後, モデル会話を聞きながら本文を読む。</p> <p>④Step 1: 発音やイントネーションなどに気をつけながらモデル会話を練習し, ペアになって会話をする。</p> <p>⑤Step 2: ペアになり, モデル会話を参考にして①～③の設定で会話をする。</p> <p>⑥Step 3: ペアになり, Tool Box の表現を参考にしながら, 地図を使って目的地を自由に決めて, スキットを作って演じる。</p>	<p>①複数回聞き, 友達と聞き取った語句や文を共有してクラスで確認する。</p> <p>⑤⑥ペアを替えて複数回練習する。</p> <p>⑥p.142 の Word Box 5 (建物・名所・名物) を参考にする。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト 与えられた初見の条件で, 通りがかりの人に道順を説明する場面において, 教師あるいは友達と即興で会話をする。</p> <p>ペーパーテスト 与えられた初見の条件で, KE の重要表現を用いて, スキットの原稿を書く。</p>	<p>・学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマを予め示しておき, そのうち任意の 1 つを学期末に実施する。</p>

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 63 Part 1 64-65	●扉の絵や写真から必要な情報を読み取り, 事実や考えたことなどを伝え合う。 ①本文を読む前に質問に答えながら既知の事実や知識を整理し, 課の目標を確認する。 ●接続詞 if の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 13 の接続詞 if の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①教科書の質問以外についても尋ね合う。
2	Part 1 64-65	●接続詞 if を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で接続詞 if を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 様々な状況で自分がすることを伝え合う。 ③Write: Speak ③で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: ペアで, 週末の天気が晴れの場合と雨の場合の計画を伝え合う。	④p.141 の Word Box 1 の余暇の過ごし方を参照する。
3	Part 2 66-67	●接続詞 because の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 14 の接続詞 because の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	
4	Part 2 66-67	●接続詞 because を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で接続詞 because を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 様々な状況で自分がした行動とその理由を伝え合う。 ③Write: Speak ③で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: ペアで, 職場体験で行きたい場所とその理由を伝え合う。	④p.142 の Word Box 5 の建物・名所・名物を参照する。
5	Part 3 68-69	●S+be 動詞+形容詞+that 節の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 15 の S+be 動詞+形容詞+that 節の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①Notes の動物園の 4 つの役割について参照する。
6	Part 3 68-69	●S+be 動詞+形容詞+that 節を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で S+be 動詞+形容詞+that 節を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 様々な状況にいる人になりきって気持ちを伝え合う。 ③Write: Speak (2)で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 自分が頑張っていることと, 今後の見通しについて発表する。	
7	R&T 70-71	●職場体験先へのお礼の手紙の文章を読んで, 要点や概要を捉える。 ①Scene から要点を推測し, 本文を読んで確認する。 ②新出語句を確認し, 各段落にタイトルをつけて要点を捉える。 ③概要を捉えるために, 本文の内容を表にまとめたり, マッピングを作成したりする。	
8	R&T 70-71	●職場体験先へのお礼の手紙の文章の概要を確認し, 手紙の内容から自分が考えたことについて伝え合う。 ①Step 1 の活動を行い, 職場体験で経験したことの順番に気をつけて読み取る。 ②Step 2 の活動を行い, 詳細情報を読み取る。 ③Step 3 の活動をペアで行い, Jin が今後取り組むとよいと思うことを伝え合う。	③Tool Box の表現を参考にする。
9	T&W 72	●将来の夢や目標について整理し, 簡単な語句や文を用いて書く。 ①Step 1 の活動を行い, 夢について書かれた文章の内容を読み取る。 ②Step 2 の活動を行い, 将来の夢や達成したい目標について内容をメモする。 ③Step 3 の活動を行い, 将来の夢や達成したい目標について書く。	④p.143 の Word Box 6 の職業・将来したいことを参照する。
後日		パフォーマンステスト ・本文あるいは R&T のお礼の手紙の内容を要約して発表する。 ・将来の夢や達成したい目標について発表する。 ペーパーテスト ・接続詞 if と because, be 動詞+形容詞+that 節を用いた文の構造の理解を基に, 初見の文章を読み要点や概要を捉える。 ・接続詞 if と because, be 動詞+形容詞+that 節を用いた文の構造の理解を基に, 将来の夢や達成したい目標について説明する文章を書く。	・パフォーマンステストは, いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき, そのうちの 1 つを学期に一度実施する。

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	73	<p>● 海外のレストランでランチを食べる際、簡単な語句や文を用いて即興で適切に注文する。</p> <p>①本文を見ないでモデル会話を聞き、聞き取った要点と場面の概要を確認する。</p> <p>②本文を読んで、聞き取った内容を確認する。</p> <p>③新出語句と KE の重要表現の意味や働きを確認した後、モデル会話を聞きながら本文を読む。</p> <p>④Step 1: 発音やイントネーションなどに気をつけながらモデル会話を練習し、ペアになって会話をする。</p> <p>⑤Step 2: ペアになり、モデル会話を参考にして①～③の設定で会話をする。</p> <p>⑥Step 3: ペアになり、Tool Box の表現を参考にしながら、おすすめの料理や注文する飲み物、もらうタイミングなどの内容を自由に決めて、スキットを作って演じる。</p>	<p>①複数回聞き、友達と聞き取った語句や文を共有してクラスで確認する。</p> <p>⑤⑥ペアを替えて複数回練習する。</p> <p>⑥p. 144 の Word Box 7 (食べ物・飲み物・味) を参考にする。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト 与えられた初見の条件で、レストランで注文する場面において、教師あるいは友達と即興で会話をする。</p> <p>ペーパーテスト 与えられた初見の条件で、KE の重要表現を用いて、スキットの原稿を書く。</p>	<p>・学期中に学習したいいくつかの Let's Talk のテーマを予め示しておき、そのうち任意の 1 つを学期末に実施する。</p>

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	74	<p>●週末がどんな天気の場合に何をするかを尋ねたり、それに答えたりする。</p> <p>●余暇に何をするのが好きかを尋ねたり、余暇にすることをその理由とともに伝えたりする。</p> <p>①例にある仮定を表す接続詞 if, 理由や原因を表す接続詞 because, 時を表す接続詞 when, before, after を、例文を用いて確認する。Unit 5 に戻って仮定・理由を表す接続詞を使った表現を探して文の構造と意味を確認する。</p> <p>②Your Turn の例をペアで読み、表にある表現が会話中でどのように機能しているか確認する。</p> <p>③Your Turn (1)の例を参考に、ペアになり会話をして、今週末にどんな天気だったら何をするかを伝え合う。</p> <p>④Your Turn (2)の例を参考に、ペアになり会話をして、余暇にどんなことをすることが好きか理由とともに伝え合う。</p>	<p>・文脈の中で機能を確認するようにする。</p> <p>・ペアは何回か替えて複数回会話ができる機会を持つ。回数を重ねるうちに何も見ずに、スムーズに会話ができるようにする。</p>
後日		<p>ペーパーテスト パフォーマンステスト 相手とどんな天気なら何をするかを伝え合う。 相手と余暇にどんなことをすることが好きか伝え合う。</p>	

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 75 Part 1 76-77	●扉の絵から必要な情報を読み取り, 事実や考えたことなどを伝え合う。 ①本文を読む前に質問に答えながら既知の事実や知識を整理し, 課の目標を確認する。 ●S+V+O+C(名詞/形容詞)の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 16 S+V+O+C(名詞)の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①教科書の質問以外についても尋ね合う。
2	Part 1 76-77	●S+V+O+C(名詞)を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で S+V+O+C(名詞)を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 誰が何をどう呼んでいるかについて伝え合う。 ③Write: Speak ③で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: あなたと周りの人が互いにどう呼んでいるかについて文を書く。	
3	Part 2 78-79	●S+V+O+C(形容詞)の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 17 S+V+O+C(形容詞)の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	
4	Part 2 78-79	●S+V+O+C(形容詞)を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で S+V+O+C(形容詞)を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 様々なことが自分をどのような気持ちにするかを伝え合う。 ③Write: Speak (2)で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 何かしたときの気持ちについて尋ね合う。	④p.141 の Word Box 2 の感想・気持ちを表す形容詞を参照する。
5	Part 3 80-81	●S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 18 S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	
6	Part 3 80-81	●S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 様々な状況において誰かに言われたことなどを伝え合う。 ③Write: Speak ③で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 誰かにしてほしいことについて書く。	④Tool Box の表現を参照する。
7	R&T 82-83	●合唱コンクール後にやり取りしたテキストメッセージの要点や概要を捉える。 ①Scene から要点を推測し, 本文を読んで確認する。 ②新出語句を確認し, 発言者ごとに整理して要点を捉える。 ③概要を捉えるために, 本文の内容を表にまとめたり, マッピングを作成したりする。	②Notes の英語の顔文字 Emoticon について参照する。
8	R&T 82-83	●合唱コンクール後にやり取りしたテキストメッセージの概要を確認し, 要約した文を書く。 ①Step 1 の活動を行い, 要点と概要を捉える。 ②Step 2 の活動を行い, 詳細情報を捉える。 ③Step 3 の活動を行い, やり取りしたテキストメッセージの要約文を完成させる。	
9	T&W 84	●悩みを相談するテキストメッセージを読んで, メッセージに対する返信の内容を整理して書く。 ①Step 1 の活動を行い, 悩みを相談するメッセージの内容を読み取る。 ②Step 2 の活動を行い, メッセージへの返信の内容をメモする。 ③Step 3 の活動を行い, メッセージへ返信する文章を書く。	
後日		パフォーマンステスト ・本文あるいは R&T のテキストメッセージの内容を要約して発表する。 ・合唱コンクール後のテキストメッセージや悩みを相談するテキストメッセージへの返信内容を説明する。 ペーパーテスト ・S+V+O+C(名詞/形容詞), S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞を用いた文の構造の理解を基に, 初見の文章を読み要点や概要を捉える。 ・S+V+O+C(名詞/形容詞), S+want/tell/ask+O(人)+to 不定詞を用いた文の構造の理解を基に, 何かされたときの気持ちや人にしてほしいことについて説明する文章を書く。	・パフォーマンステストは, いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき, そのうちの 1 つを学期に一度実施する。

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	85	<p>●留守番電話で伝えられたメッセージに使われている語句の意味や働きを理解し、メッセージから必要な情報を聞き取る。</p> <p>①BL チケットの内容を基に、教師と生徒のやり取り、生徒同士のやり取りでチケットから得られる情報を伝え合う。</p> <p>②Step 1: 友達からの留守番電話のメッセージを聞いて、要点を捉える。 聞き取った情報をペアやグループで確認する。その後要点を捉えたうえで、もう一度聞き取り、詳細情報を捉える。</p> <p>③Step 2: もう一つ残されていた友達からのメッセージを聞いて、要点を捉える。 聞き取った情報をペアやグループで確認する。その後要点を捉えたうえで、もう一度聞き取り、詳細情報を捉える。</p> <p>④Step 3: 留守番電話のメッセージで聞き取った情報を基に、メッセージへの返信のテキストメッセージを書く。</p>	②③p. 134 スクリプトを参考にする。
後日		リスニングテスト ペーパーテスト	

Book 2 Focus on Form ④ さまざまな文構造 pp. 86-87 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	86-87	<p>●ふだんどこで勉強するかについて尋ねたり, 勉強する場所やそこでする理由などを答えたりする。</p> <p>●将来どんなロボットがほしいかを, そのロボットにつける名前やしてほしいこと, 自分にどんなアドバイスをするかなどを書く。</p> <p>①例にある人やものの存在を表す be 動詞を用いた表現, There is/are ~., that 節を用いた表現, 〈疑問詞+to+動詞の原形〉を用いた表現, 「…を～と呼ぶ」, 「…を～という状態にする」などの表現, 「…に～してほしい」, 「…に～するように言う」などの表現を, 例文を用いて確認する。Unit 1, 4, 5, 6 に戻ってさまざまな文構造を使った表現を探して文の構造と意味を確認する。</p> <p>②Your Turn の例をペアで読み, 表にある表現が会話中でどのように機能しているか確認する。</p> <p>③Your Turn (1)の例を参考に, ペアになり会話をして, 普段どこで勉強するか伝え合う。</p> <p>④Your Turn (2)の例を参考に, ペアになり会話をして, 将来どんなロボットが欲しいか書く。</p>	<p>・文脈の中で機能を確認するようにする。</p> <p>・ペアは何回か替えて複数回会話ができる機会を持つ。回数を重ねるうちに何も見ずに, スムーズに会話ができるようにする。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>パフォーマンステスト</p> <p>普段どこで勉強するかについて伝え合う。</p>	



Book 2 Project ② Our Dreams for the Future pp. 88-89 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	88-89	<p>●「30年後にあったらいいなと思うもの」についてプレゼンテーションの原稿を読んで、要点を捉える。</p> <p>①サンプルのプレゼンテーションの原稿を読んで、どのようなものについて説明しているか確認する。</p> <p>②新出語句や重要表現の意味を確認する。</p> <p>③再度記事を読み、「あったらいいなと思うもの」、機能や具体例ごとに分かったことをメモする。その後、クラス全体で内容について確認する。</p> <p>④次回までに発表したいジャンルを1つ選んでおく。</p>	<p>・「30年後にあったらいいなと思うもの」について、ペアで考えを共有し、何について発表するかを考える。</p>
2	88-89	<p>●自分が「30年後にあったらいいなと思うもの」のジャンルを選び、情報を整理し、簡単な語句や文を用いてプレゼンテーションのためのメモを書く。</p> <p>①テーマについて自分が発表したいジャンルを1つ選び、「あったらいいなと思うもの」、機能や具体例など要点ごとに説明を書く。</p> <p>②書いたメモを整理し、発表用のメモにまとめる。</p>	<p>・ジャンルや物を決めるのが難しそうな場合は、それぞれのジャンルに関して生徒とやり取りし、想像を膨らませる。</p>
3	88-89	<p>●自分が選んだジャンルについてのメモを参考にプレゼンテーションを行い、評価し合う。</p> <p>①発表用メモをペアで交換して読み合い、質問し合ったり、追加できそうな情報を伝え合う。</p> <p>②アドバイスをもとに必要に応じて発表メモを修正する。</p> <p>③クラスで発表する。</p>	<p>・この活動によって発表メモの完成度を高めたい。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・作成したメモをもとに教師にプレゼンテーションを行う。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・初見で与えられたジャンルについて、あったらいいなと思うものの機能や具体例を短い文章で書く。</p>	

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	90-91	<p>●男の子がスノーマンをつくり、家の中で遊び、外に出て飛ぶところまでの物語を読んで、あらすじを捉える。</p> <p>①BR 物語の背景を理解し、生徒同士のやり取りを通して物語を主体的にとらえ、内容を予想する。</p> <p>②新出語句、小学校既習語を参考にしながら本文を読む。</p> <p>③スノーマンが家の中でしたことについて推測して話して伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QR, 指導書付属 PC を使って物語の概要を捉える助けとする。</li> <li>・自分だったらどうするかを考えながら主体的に読ませる。</li> </ul>
2	92-93	<p>●男の子がスノーマンとともに北の国でサンタクロースに出会い、家に帰ってきて翌朝の結末までの物語を読んで、あらすじを捉える。</p> <p>①前回(pp.90-91)の内容を復習する。</p> <p>②新出語句、小学校既習語を参考にしながら本文を読む。</p> <p>③登場するキャラクターの心情について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QR, 指導書付属 PC を使って物語の概要を捉える助けとする。</li> <li>・自分だったらどうするかを考えながら主体的に読ませる。</li> </ul>
3	90-93	<p>●物語を読んで、あらすじや男の子の心情を捉える。</p> <p>①前回までの内容を復習する。</p> <p>②新出語句、小学校既習語を参考にしながら本文を読む。</p> <p>③After Reading 物語のあらすじや詳細情報、男の子の心情について捉える。</p> <p>④登場するキャラクターの心情を考えながら、場面ごとの男の子の日記を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QR, 指導書付属 PC を使って物語の概要を捉える助けとする。</li> <li>・自分だったらどうするかを考えながら主体的に読ませる。</li> </ul>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の展開を考えながら、物語のあらすじを効果的に発表する。</li> </ul> <p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の概要や詳細情報を基に、話の中で描写されていない状況描写やセリフを考えて書く。</li> </ul>	

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 95 Part 1 96-97	●扉の写真から必要な情報を読み取り、事実や考えたことなどを伝え合う。 ①本文を読む前に質問に答えながら既知の事実や知識を整理し、課の目標を確認する。 ●比較級/最上級(-er, -est,)の文の構造を理解し、本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし、既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 19 の比較級/最上級(-er, -est,)の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し、本文の要点や概要を捉え、適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①教科書の質問以外についても尋ね合う。
2	Part 1 96-97	●比較級/最上級(-er, -est,)を用いて、表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し、本文で比較級/最上級(-er, -est,)を復習し、本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで、世界の山や動物について比較して伝え合う。 ③Write: Speak で尋ねたことを正確に書く。 ④Express Yourself: 自分が行ってみたい国や場所について書く。	④地図帳などを活用する。
3	Part 2 98-99	●比較級/最上級(more ~, most ~)の文の構造を理解し、本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし、既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 20 の比較級/最上級(more ~, most ~)の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し、本文の要点や概要を捉え、適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	
4	Part 2 98-99	●比較級/最上級(more ~, most ~)を用いて、表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し、本文で more ~, most ~ を復習し、本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで、様々な活動の面白さや難しさの順位について尋ね合う。 ③Write: Speak で尋ねたこととその答えを正確に書く。 ④Express Yourself: 本や映画について紹介する文章を書く。	
5	Part 3 100-101	●as ~ as の文の構造を理解し、本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし、既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 21 の as ~ as の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し、本文の要点や概要を捉え、適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし、答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	②Notes のウルルについて参照する。
6	Part 3 100-101	●as ~ as を用いて、表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し、本文で as ~ as を復習し、本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで、様々な動物の特徴について伝え合う。 ③Write: Speak (2)で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 様々な項目について自分と他者について比べて文章を書く。	
7	R&T 102-103	●世界遺産が抱える課題についての授業を聞いたり読んだりして、要点や概要を捉える。 ①Scene から要点を推測し、本文を読んで確認する。 ②新出語句を確認し、各段落にタイトルをつけて要点を捉える。 ③概要を捉えるために、本文の内容を表にまとめたり、マッピングを作成したりする。	
8	R&T 102-103	●世界遺産が抱える課題についての授業の文章の概要を確認し、要点を説明する。 ①Step 1 の活動を行い、要点と概要を捉える。 ②Step 2 の活動を行い、詳細情報に関する質問を聞き、質問への答えを読み取る。 ③Step 3 の活動を行い、授業内容の要点を Key Words を参考に説明する。	
9	T&S 104	●大切な物を紹介する発表の内容を整理し、簡単な語句や文を用いてスピーチする。 ①Step 1 の活動を行い、発表内容を聞き取る。 ②Step 2 の活動を行い、自分が発表したい内容についてメモする。 ③Step 3 の活動を行い、大切な物について発表する。	
後日		パフォーマンステスト ・本文あるいは R&T の世界遺産の課題について授業の内容を要約して発表する。 ・地域や学校の大切な物について発表する。 ペーパーテスト ・比較級/最上級(-er, -est, more ~, most ~), as ~ as を用いた文の構造の理解を基に、初見の文章を読み要点や概要を捉える。 ・比較級/最上級(-er, -est, more ~, most ~), as ~ as を用いた文の構造の理解を基に、紹介したいものを他のものと比較して説明する文章を書く。	・パフォーマンステストは、いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき、そのうちの1つを学期に一度実施する。

Book 2 Let's Talk ⑤ 体調は？ p. 105 指導計画

(KE: Key Expressions)

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	105	<p>●体調が悪そうな友達がいるとき、簡単な語句や文を用いて即興で適切に声をかける。</p> <p>①本文を見ないでモデル会話を聞き、聞き取った要点と場面の概要を確認する。</p> <p>②本文を読んで、聞き取った内容を確認する。</p> <p>③新出語句と KE の重要表現の意味や働きを確認した後、モデル会話を聞きながら本文を読む。</p> <p>④Step 1: 発音やイントネーションなどに気をつけながらモデル会話を練習し、ペアになって会話をする。</p> <p>⑤Step 2: ペアになり、モデル会話を参考にして①～③の設定で会話をする。</p> <p>⑥Step 3: ペアになり、Tool Box の表現を参考にしながら、症状やアドバイスの内容を自由に決めて、スキットを作って演じる。</p>	<p>①複数回聞き、友達と聞き取った語句や文を共有してクラスで確認する。</p> <p>⑤⑥ペアを替えて複数回練習する。</p> <p>⑥p.144 の Word Box 8 (体調と対処法) を参考にする。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト 与えられた初見の条件で、相手の体調が悪そうな場面において、教師あるいは友達と即興で会話をする。</p> <p>ペーパーテスト 与えられた初見の条件で、KE の重要表現を用いて、スキットの原稿を書く。</p>	<p>・学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマを予め示しておき、そのうち任意の 1 つを学期末に実施する。</p>

Book 2 Focus on Form ⑤ 比較表現 pp. 106-107 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	106-107	<p>●身近なものについて、どちらがより好きか、何が一番好きかなどについて尋ねたり、答えたりする。</p> <p>●理想の自分について、今の自分と比較しながら具体的に書く。</p> <p>①例にある「A は B より～です」という表現、「最も～です」という表現、「A は B と同じくらい～です」という表現、「A は B ほど～ではありません」という表現を、例文を用いて確認する。Unit 7 に戻って比較表現を使った表現を探して文の構造と意味を確認する。</p> <p>②Your Turn の例をペアで読み、表にある表現が会話中でどのように機能しているか確認する。</p> <p>③Your Turn (1)の例を参考に、ペアになり会話をして、身近なものについてどちらがより好きか、何が一番好きかを伝え合う。</p> <p>④Your Turn (2)の例を参考に、自分の理想と今の自分と比較しながら書く。</p>	<p>・文脈の中で機能を確認するようにする。</p> <p>・ペアは何回か替えて複数回会話ができる機会を持つ。回数を重ねるうちに何も見ずに、スムーズに会話ができるようにする。</p>
後日		<p>ペーパーテスト パフォーマンステスト 相手と身近なものについてどちらがより好きか、何が一番好きかを伝え合う。</p>	

Book 2 Let's Write ② 日本の習慣やマナーを伝えよう p. 108 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	108	<p>●日本の習慣やマナーをまとまりのある文章で紹介する。</p> <p>①Scene 状況を確認し、内容について生徒とやり取りしながら確認する。</p> <p>②Step 1: メールを読み、日本の習慣やマナーに関するアドバイスの概要を確認する。</p> <p>③新出語句と重要表現の意味や働きを確認した後、本文を読み詳細情報を確認する。</p> <p>④Step 2: 自分がアドバイスする場面と内容についてアイデアを挙げる。</p> <p>⑤Step 3: メールの本文を参考にして、メールへの返信を書く。ペアでメールの返信を読み合い、良い点や改善点を伝え合って、メールを修正する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QR で状況を確認する。</li> <li>・メールの書き方について確認する。</li> </ul>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初見の情報が与えられた状況で国や地域、様々なコミュニティの習慣やマナーについて、場面と内容についてアドバイスする文章を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期中に学習したいくつかのテーマをあらかじめ示しておき、そのうち任意の一つについて紹介する作文課題を学期末に行ってもよい。</li> </ul>

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 109 Part 1 110- 111	●扉の絵や写真から必要な情報を読み取り, 事実や考えたことなどを伝え合う。 ①本文を読む前に質問に答えながら既知の事実や知識を整理し, 課の目標を確認する。 ●受動態の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 22 の受動態の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	①教科書の質問以外についても尋ね合う。 ②Notes のカリフォルニア・ロールについて参照する。
2	Part 1 110- 111	●受動態を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で受動態を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 様々なものについて伝え合う。 ③Write: Speak ③で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 好きな小説やマンガ, 曲について紹介する文章を書く。	④Tool Box の表現を参考にする。
3	Part 2 112- 113	●受動態の疑問文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 23 の受動態の疑問文の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	
4	Part 2 112- 113	●受動態を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で受動態の疑問文を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 身の回りのものについて尋ね合う。 ③Write: Speak ③で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 興味がある行事などについて尋ね合う。	
5	Part 3 114- 115	●助動詞+受動態の文の構造を理解し, 本文の要点や概要を捉える。 ①Enjoy Chatting の活動をし, 既知の事実や知識について尋ね合う。 ②Target 24 の助動詞+受動態の意味や働きを理解する。 ③新出語句を確認し, 本文の要点や概要を捉え, 適切な発音で本文を音読する。 ④Listen の活動をし, 答えとその答えを選んだ理由を全体で確認する。	
6	Part 3 114- 115	●助動詞+受動態を用いて, 表現したり伝え合ったりする。 ①新出語句を確認し, 本文で助動詞+受動態を復習し, 本文の要点や概要を確認する。 ②Speak: ペアで, 様々なものについて伝え合う。 ③Write: Speak ③で話したことを正確に書く。 ④Express Yourself: 好きな動物や植物を紹介する文章を書く。	④Tool Box の表現を参考にする。
7	L&T 116- 117	●食の多様性についてのプレゼンテーションを聞いて, 要点と概要を捉える。 ①Scene から要点を推測し, プレゼンテーションを聞いて確認する。 ②新出語句を確認し, 再度聞いて各スライドにタイトルをつけて要点を捉える。 ③概要を捉えるために, 内容を表にまとめたり, マッピングを作成したりする。	
8	L&T 116- 117	●食の多様性についてのプレゼンテーションの概要を確認し, 内容を要約する。 ①Step 1 の活動を行い, 要点と概要を捉える。 ②Step 2 の活動を行い, 詳細情報を整理して捉える。 ③Step 3 の活動を行い, Key Words を参考にプレゼンテーションの内容を整理して要約する。	③pp.132-133 のスクリーンを参照する。
9	T&W 118	●地域のおいしい食べものについて内容を整理し, 簡単な語句や文を用いて紹介記事を書く。 ①Step 1 の活動を行い, 紹介されている食べものについての内容を読み取る。 ②Step 2 の活動を行い, ペアやグループで紹介したい食べものについて伝え合う。 ③Step 3 の活動を行い, 紹介したい食べものについての記事を書く。	
後日		パフォーマンステスト ・本文あるいはL&Tのプレゼンテーションの内容を要約して発表する。 ・日本や地域のおいしい食べものについて発表する。 ペーパーテスト ・受動態, 助動詞+受動態を用いた文の構造の理解を基に, 初見の文章を読み要点や概要を捉える。 ・受動態, 助動詞+受動態を用いた文の構造の理解を基に, 紹介したいものについて説明する文章を書く。	・パフォーマンステストは, いくつかのユニットで学習したテーマをあらかじめ示しておき, そのうちの1つを学期に一度実施する。

Book 2 Let's Talk ⑥ 許可を求める p. 119 指導計画

(KE: Key Expressions)

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	119	<p>●海外のショッピングモールで靴を買う際、簡単な語句や文を用いて即興で適切に店員と会話をする。</p> <p>①本文を見ないでモデル会話を聞き、聞き取った要点と場面の概要を確認する。</p> <p>②本文を読んで、聞き取った内容を確認する。</p> <p>③新出語句と KE の重要表現の意味や働きを確認した後、モデル会話を聞きながら本文を読む。</p> <p>④Step 1: 発音やイントネーションなどに気をつけながらモデル会話を練習し、ペアになって会話をする。</p> <p>⑤Step 2: ペアになり、モデル会話を参考にして①～③の設定で会話をする。</p> <p>⑥Step 3: ペアになり、Tool Box の表現を参考にしながら、したいことの内容を自由に決めて、相手にしてもいいかを尋ねるスキットを作って演じる。</p>	<p>①複数回聞き、友達と聞き取った語句や文を共有してクラスで確認する。</p> <p>⑤⑥ペアを替えて複数回練習する。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト 与えられた初見の条件で、自分が何かしたい場面において、教師あるいは友達と即興で会話をし、してもいいか尋ねる。</p> <p>ペーパーテスト 与えられた初見の条件で、KE の重要表現を用いて、スキットの原稿を書く。</p>	<p>・学期中に学習したいくつかの Let's Talk のテーマを予め示しておき、そのうち任意の 1 つを学期末に実施する。</p>

Book 2 Let's Listen ④ ラジオ番組 p. 120 指導計画

(BL: Before Listening)

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	120	<p>●ラジオ番組で使われている語句の意味や働きを理解し、ラジオ番組から必要な情報を聞き取り、その内容を友達に伝える。</p> <p>①BL 示されている絵の内容を基に、教師と生徒のやり取り、生徒同士のやり取りで絵から得られる情報を伝え合う。</p> <p>②Step 1: ラジオ番組を聞いて、Abby がいつ何をしたか概要を捉える。 聞き取った情報をペアやグループで確認する。その後概要を捉えたうえで、もう一度聞き取り、詳細情報を捉える。</p> <p>③Step 2: ラジオ番組の内容について司会者たちの会話を聞いて、概要を捉える。 聞き取った情報をペアやグループで確認する。その後概要を捉えたうえで、もう一度聞き取り、詳細情報を捉える。</p> <p>④Step 3: ラジオ番組で聞き取った情報を基に、ラジオ番組の内容を伝え合う。 ペアを替えて、何度かラジオ番組の内容を伝え合う。</p>	<p>②③p.134 スクリプトを参考にする。</p> <p>④p.141 の Word Box 1 余暇の過ごし方を参考にする。</p>
後日		<p>リスニングテスト ペーパーテスト</p>	

Book 2 Focus on Form ⑥ 受動態 p. 121 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	121	<p>●日本発祥で、世界に広がっているものについて、それが日本発祥であることや世界でどのように受け入れられているか、その国に合うようにどのように変えられているかなどについて書く。</p> <p>①例にある「～されます」「～されています」という言い方である 受動態 (受け身) や &lt;助動詞+be 動詞+過去分詞&gt;の肯定文, 否定文, 疑問文, 応答文を, 例文を用いて確認する。Unit 8に戻って受動態や&lt;助動詞+be+過去分詞&gt;を用いた表現を探して文の構造と意味を確認する。</p> <p>②Your Turn の例をペアで読み, 表にある表現が会話中でどのように機能しているか確認する。</p> <p>③Your Turn の例を参考に, ペアになり会話をして, 日本発祥で世界に広がっているものについて書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈の中で機能を確認するようにする。</li> <li>・ペアは何回か替えて複数回会話ができる機会を持つ。回数を重ねるうちに何も見ずに、スムーズに会話ができるようにする。</li> </ul>
後日		ペーパーテスト	



Book 2 Project ③ Discussion pp. 122-123 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	122-123	<p>● サンプルのディスカッションの内容を読んで、要点を捉える。</p> <p>① ディスカッションを聞いて、内容について確認する。</p> <p>② ディスカッションの内容を読んで、それぞれの意見とその理由について確認する。</p> <p>③ 新出語句や重要表現の意味を確認する。</p> <p>④ グループで出された意見とその理由についての発表を聞き、それぞれの意見を支持する人数と理由について分かったことをメモする。その後、クラス全体で内容について確認する。</p> <p>⑤ 学習したディスカッションの内容をもとに自分の意見を考えておく。</p>	<p>・ 賛成する文にアンダーラインを引かせる。</p>
2	122-123	<p>● 学校の制服は必要かどうか、自分の意見と理由を書く。</p> <p>① Tool Boxを参考にしながら、学校の制服は必要かどうか、自分の意見と理由を考えてメモする。</p> <p>② グループになり、意見と理由を伝え合い、感想を言ったりアドバイスをしたりする。</p> <p>③ ペアを替えて何度か意見と理由を伝え合う。ディスカッションで使う言い回しを参考にして伝え合う。</p>	<p>・ 理由は複数挙げられるように考えさせるとよい。</p> <p>・ 自分と反対意見の理由も考え、ディスカッション中の反駁の準備もする。</p>
3	122-123	<p>● 考えた意見をもとにグループでディスカッションを行い、話し合った内容を整理して報告する。</p> <p>① グループになり自分の意見をもとにディスカッションをする。ディスカッションで使う言い回しを参考にして発言する。</p> <p>② ディスカッションで話し合った内容について整理して報告する。</p>	<p>・ グループを替えて複数回ディスカッションを行ったり、クラス全体でディスカッションを行ったりして、話し合う経験をより多く持たせる。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループでディスカッションを行う。</li> </ul> <p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディスカッションで話し合った内容に関して報告する文章を書く。</li> </ul>	

Book 2 Let's Read ③ Charles Schulz pp. 124-128 指導計画

(BR: Before Reading)

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	124-125	<p>●Section 1 Charles Schulz's childhood を読んで、概要と内容の主要部分を支える詳細情報を捉える。</p> <p>①BR チャールズ・シュルツに関する背景を理解し、生徒同士のやり取りを通して物語を主体的にとらえ、内容を予想する。</p> <p>②新出語句、小学校既習語を参考にしながら本文を読む。</p> <p>③チャールズ・シュルツがどのような子供時代を過ごしたかについて考えながら本文を読む。</p>	<p>・QR, 指導書付属 PC を使って物語の概要を捉える助けとする。</p>
2	125-126	<p>●Section 2 The birth of <i>Peanuts</i> を読んで、概要と内容の主要部分を支える詳細情報を捉える。</p> <p>①生徒とのやり取りを経て、前回の内容を復習する。</p> <p>②新出語句、小学校既習語を参考にしながら本文を読む。</p> <p>③新聞マンガピーナッツの誕生までのいきさつについて考えながら本文を読む。</p>	<p>・QR, 指導書付属 PC を使って物語の概要を捉える助けとする。</p>
3	127	<p>●Section 3 The characters of <i>Peanuts</i> を読んで、概要と内容の主要部分を支える詳細情報を捉える。</p> <p>①生徒とのやり取りを経て、前回の内容を復習する。</p> <p>②新出語句、小学校既習語を参考にしながら本文を読む。</p> <p>③新聞マンガピーナッツの登場キャラクターと作者のメッセージについて考えながら本文を読む。</p>	<p>・QR, 指導書付属 PC を使って物語の概要を捉える助けとする。</p>
4	124-128	<p>●本文を読んで、概要と内容の主要部分を支える詳細情報を捉える。</p> <p>①生徒とのやり取りを経て、前回までの内容を復習する。</p> <p>②After Reading 物語のあらすじや詳細情報、男の子の心情について捉える。</p> <p>③チャールズ・シュルツの伝記についての理解を深めるために、インタビュー活動を行う。</p>	<p>・QR, 指導書付属 PC を使って物語の概要を捉える助けとする。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝記のあらすじについて、効果的に発表する。</li> <li>・本人になりきって発表したり、インタビュー形式で、ペアでやり取りを発表したりする。</li> </ul> <p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャールズ・シュルツに対してのファンレター形式の手紙を書く。</li> </ul>	

Book 2 Focus on Form ⑦ 助動詞 pp. 130-131 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	130-131	<p>●ホームステイで来日した学生に対して、自分たちの地域のルールなどについて、しなくてはならないことやできないこと、してはいけないことなどについて具体的に説明する。</p> <p>●以前はできなかったことで今はできるようになったことについて、いつまでできなかったか、いつできるようになったか、どのようにしてできるようになったかなどを書く。</p> <p>①例にある今のことや、これからのことについて表現するときに用いる助動詞、過去のことについて表現するときに用いる助動詞を、例文を使って確認する。Unit 1, 3, Let's Talk 3, 4 に戻って助動詞を使った表現を探して文の構造と意味を確認する。</p> <p>②Your Turn の例をペアで読み、表にある表現が会話中でどのように機能しているか確認する。</p> <p>③Your Turn の例を参考に、自分たちの地域のルールについて説明する。</p> <p>④Your Turn の例を参考に、以前はできなかったけれど、今はできるようになったことについて書く。</p>	<p>・文脈の中で機能を確認するようにする。</p> <p>・ペアは何回か替えて複数回会話ができる機会を持つ。回数を重ねるうちに何も見ずに、スムーズに会話ができるようにする。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>パフォーマンステスト</p> <p>自分たちの地域のルールについて説明する。</p>	